

1. 科目名 (単位数)	経営組織論 (2単位)	3. 科目番号	SBMP3114						
2. 授業担当教員	保原 伸弘								
4. 授業形態	講義が中心となるが、講師からの一方通行ではなく、ディスカッション (学生からの講師への質問、学生間のディスカッション等) を伴ったものにする。	5. 開講学期	秋期						
6. 履修条件・他科目との関係	経営学の延長線上にあります。								
7. 講義概要	<p>企業・学校・病院など、多数の人間から構成される組織を運営するためには、これらの組織を合理的、効率的な「一つの組織」として運営する必要がある。経営組織論は、社会の基礎的構成要素としての組織を対象として、その行動やメカニズムの解明を基礎的課題とした学問領域である。</p> <p>私たちは常に組織との相互作用の中にあり、そして取り巻く組織は常に変化しながら、行動の制約や発展・成長を私たちに与えたり、逆に私たちがより良い組織や機能を提供したりしている。この講義では、この組織の機能に着目して、組織論的課題解決手法を探索する。そして、効率的に運営される組織とは何かという観点から課題を提起し、ディスカッションを通じて課題解決に取り組む。</p> <p>この講義は、科目の性質上、経営管理論や経営戦略論等の関連科目の基礎的知識も必要となる応用科目となるので、これまで学習してきた経営学に関する知識をしっかりと復習しておくことが必要である。また、必要に応じて、適宜解説を加える。</p>								
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 経営組織論を構成する理論の概要と具体的事例の内容を理解し、説明することができる。 2. 経営組織を取り巻く経営環境を理解し、その環境への適合方法及び戦略を考察し、立案できるようになる。 3. 経営戦略を実行するのに最適な経営組織のあり方を提起し、戦略的思考を理解し、説明することができる。 								
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	適宜課します								
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】金井壽宏著『経営組織』日本経済新聞社、1999年								
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 企業の経営を実践と理論の両面から、平易な資料を用意して授業を進めたため、組織の基本的仕組は理解できたか。 2. 企業だけでなく学校、病院などの多くの人間から構成組織を運営するための、社会で要求される組織経営の基礎的な考え方を身に付け、留学生にとっても日本と母国を含めたグローバルな視点で組織のあり方を考えるような力が付いたか。 3. 企業の経営組織の理解だけでなく、病院や公共施設などの組織及び組織運営の違いを理解できるようになったか。 <p>○評定の方法</p> <p>[授業への積極的参加度、課題レポート、期末試験等を総合して評価する。]</p> <table border="0"> <tr> <td>1 授業への積極的参加</td> <td>総合点の30%</td> </tr> <tr> <td>2 課題レポート</td> <td>総合点の30%</td> </tr> <tr> <td>3 期末試験</td> <td>総合点の40%</td> </tr> </table>			1 授業への積極的参加	総合点の30%	2 課題レポート	総合点の30%	3 期末試験	総合点の40%
1 授業への積極的参加	総合点の30%								
2 課題レポート	総合点の30%								
3 期末試験	総合点の40%								
12. 受講生へのメッセージ	あらゆる人は何らかの組織に所属する。組織の活動は、経営戦略、経営管理の知識が必要である。また、経営組織の学習は、変化する社会のあり方を考察し、未来の自分の人生の目標を定めその生き方を方向付ける試みができ、セルフマネジメント手法を学ぶことにもつながる。学習する課題を、将来、自らが直面するものであることを常に意識しながら、受講してほしい。								
13. オフィスアワー	別途通知します								
14. 授業展開及び授業内容									
講義日程	授業内容	学習課題							
第1回	オリエンテーション 講義概要の説明	事前学習	テキストを準備して、テキスト内容を概観しておく						
		事後学習	講義を受けるにあたって、「特に関心があるテーマ」や「社会問題」を整理する						
第2回	いろいろな組織の捉え方 多様な組織観を探る	事前学習	テキスト(pp.11~30)を熟読する						
		事後学習	テキストとノートを読み返し、今回の講義内容を復習し、まとめる						
第3回	組織の中の個人(1)	事前学習	テキスト(pp.31~64)を熟読する。						
		事後学習	テキストとノートを読み返し、今回の講義内容を復習し、まとめる						
第4回	組織の中の個人(2)	事前学習	前回内容に関して課題レポートを書く。						
		事後学習	講義内容を復習し、まとめる。						
第5回	個人と組織のかかわり合い(1)	事前学習	テキスト(pp.65~80)を熟読する						
		事後学習	講義内容を復習し、まとめる						
第6回	集団の機能と組織	事前学習	テキスト(pp.65~80)を熟読する。						
		事後学習	講義内容を復習し、まとめる						
第7回	集団の機能と組織	事前学習	テキスト(pp.95~114)を熟読する						
		事後学習	講義内容を復習し、まとめる						
第8回	組織におけるリーダーシップ	事前学習	テキスト(pp.115~134)を熟読する						
		事後学習	講義内容を復習し、まとめる						

第9回	組織文化(1)	事前学習	キスト(pp.135～145)を熟読する。
		事後学習	大学によって雰囲気が変わってくるのはなぜか
第10回	組織文化(2)	事前学習	企業文化と企業合併の関係を考える
		事後学習	組織文化をもう一度復習する
第11回	経営組織の設計(1)	事前学習	テキスト(pp.146～170)を熟読する
		事後学習	企業にとって効率的な組織を考える
第12回	経営組織の設計(2)	事前学習	様々な組織形態があることをつかんでおくこと
		事後学習	組織設計について復習しておく
第13回	経営組織の設計(3)	事前学習	テキスト(pp.146～170)を熟読する
		事後学習	企業の成長に従ってそれにふさわしい組織が変わりうることを把握する
第14回	経営組織の動態化	事前学習	テキスト(pp.171～184)を熟読する
		事後学習	経営組織の社会貢献について考える
第15回	組織全体の方向づけと働く個人	事前学習	テキスト(pp.185～200)を熟読する
		事後学習	経営組織について総まとめする
期末試験			